

令和 2 年度 第 1 回日南町総合教育会議 会議録

招集年月日	令和 2 年 8 月 1 7 日
招 集 場 所	日南町役場 第 2 会議室
開 会	午後 1 時 3 0 分 教育長
出席委員	中村町長 伊田教育長 中村教育委員 西村教育委員 山脇教育委員 中島教育委員
欠席委員	吹野日南中学校長
オブザーバー	丸山副町長、木下総務課長、村上教育次長、吉田日南小学校長、段塚保育園長、三上専門監、福田室長、三上室長

議 事 日 程		議 事 の 経 過
日程その他	発 言 者	発 言 の 要 旨
	教育長	<p>開会</p> <p>新型コロナウイルス感染症のこともあり、なかなかこの会が開催できなかった。新しく山脇委員、西村委員さんに入っていただき、職務代行として中島委員さんにお世話になる。本日は、義務教育の在り方についてご意見を伺いたい。第 1 回の会議を 8 月 2 6 日に開く予定である。この会に対する町長の思いを伺いたい。学校の現状を含めて意見交換をしていきたい。</p>
	町長	<p>教育委員さんを新しく迎え、新しい体制で教育の分野にお力添えをいただきたい。今年度初めての会を開催できた。本町は、GIGA スクール、コロナ感染防止等について力を注いでいる。現在は、教育のあり方検討会、コミュニティ・スクール、まなびや縁側等、着々とやっていただいている。ご協力にお礼申し上げたい。義務教育学校の動きがあれば、日南町らしいものをこれから考えていきたい。着実に進めていっていただきたい。</p> <p>本日の議題は、教育のあり方検討会についてだが、答申を受けて次へきちんとつなげていただきたい。目標だけつくっても、具体的な実践が大切でスピード感をもってやってほしい。よりよい日南の子どもたちの成長を助けていきたい。</p>

協議

	(オブザーバー紹介)
次長	* 資料説明
教育長	本日の協議題は1つ。8月26日に第1回の会議がある。諮問内容について、町長の思いを語っていただきたい。
町長	H19に在り方会議があった。小学校が統合するという方向が決まってから教育について検討していただいた。それから10年を超えている。10年の中でさまざまな取り組みがなされているがそれ以外にもいろいろな状況がある。今一度、教育について検討する必要がある。状況が変わっている中、改めて子どもの教育について考えたいというのが思い。10年経って、結果を検証することも必要。結果をふまえて教育のあり方を改めて定義づけしてほしい。次の方向を出してほしい。 ①0～18歳までの教育を明確にしてほしい。 ②保小中一貫について考えたい。 ③ふるさとを考えてくれる子どもを育てたい。 これ以外でもご示唆いただくとありがたい。
教育長	この会は、教育委員さんと町長とが話をしていく会。質問や意見をどうぞ。
教育委員	答申予定は12月だが、教育大綱、教育振興基本計画との関係をどのようにとらえるか。
町長	答申は、極端には違わないと思う。修正が必要ななら修正する。しっかり協議することが大事。
教育委員	柔軟に取り組みたい。
教育長	教育大綱と教育振興基本計画の枠の中での話になる。全く別物ではない。
教育委員	諮問内容は良いと思う。前回出された答申が、自分のものになっていなかった。町内の方々に聞いても共有できていなかったように聞いている。答申が共有されることは大事。今回はどのようにされるか。具体的な実践の仕組みができていなくてだんだん薄れていったのでは。気持ちが高まっているときに仕組みをつくっていく。来年度が勝負の年だと考えている。
町長	学校現場は仕組みが作りやすい。保護者と地域が仕組みを作るのが難しいと思う。
教育委員	できるところからスタートしてよい。7つの地域がいっぺんには難しい。良かったら周りはずいてくる。
町長	少しずつでも進めていくことが大事。
教育委員	コミュニティ・スクールも進んでいるので、うまくつながるといい。R4年までに各地域でできること

町長	はある。コミュニティ・スクール立ち上げを待たなくてもやれることはあるのではないか。
教育委員	コロナで休校の時、地域振興センターの利用もあった。地域振興センターを場として活用することもこれからの地域のあり方かもしれない。地域の力をお借りする良い事例だと思う。
事務局	スケジュールの確認をしたい。R 4 にコミュニティ・スクールが立ち上がれば、今回の答申も連動したものになるか。
教育委員	*資料により、コミュニティ・スクールのスケジュールについて説明
教育長	このスケジュールを守ってほしい。
小学校長	コロナについて学校の動きはどうか。地域との関連もあれば。
教育委員	5年生が多里で宿泊学習を行った。多里地域振興センターに大変お世話になった。星座の話、川遊び、オオサンショウウオなどの体験学習を行った。日南の子どもたちは、自然の中で遊んでいないというのが実感。学校として仕組んでいくことが大切だと思う。多里に限らず、1日、自然体験の日など設定してもいいのかもしれない。座学よりは体を思いきり動かすことが必要。
小学校長	いつもと全く違う5年生の姿があったと思う。みんな参加したか。
教育委員	100%参加した。みんな元気だった。
教育委員	すばらしい。これはヒントになる。
教育委員	子どもは遊ぶことが大事。遊び場が少ないし、公園もない。体を思いきり動かす場所がない。毎日、体を動かす機会がないのではないか。自然の中で思いきり遊ぶことは必要だと思う。
教育長	遊び場はずっと課題としてある。どう工夫するかが問題。
教育委員	自然体験といえば、保育園はイチイ荘の裏山で保育されていた。自然を使って教育もできればいい。地域力も問われているところ。地域に子どもがいない。PTA支部活動もあるが、支部によって差がある。支部活動の内容もさまざま、もっと工夫できる。
教育委員	在り方検討会の中に、教育現場の状況も入ってくるか。
教育長	出てくる。
教育委員	中庭を見て驚いた。遊び場がない。グラウンドは公認でなくなった。1周300mでなくてもよいのでは。
副町長	今は300mにこだわっていない。運動会では200mにしている。

教育委員	校庭のすみに遊具が置くことができると聞いたことがある。子どもたちは休憩時間、グラウンドで遊んでいる。
教育委員	遊び場はグラウンドを活用しているということか。遊具がないだけか。遊びを考えるのは子どもは得意だ。グラウンドの活用の方向性は。
町長	社会人の方も使っている。郡レベルの大会、町民運動会もやっている。どうするかというイメージはまだもっていない。学校としてはどうか。
小学校長	中庭の広さに対しての人数は多い。のぼり棒、うんてい、ブランコで遊んでいるが、かなり密である。グラウンドの一角にでも遊具ができればいいが、町民グラウンドなので。
教育委員	中学校の建て替えの問題も近い将来出てくる。
町長	まずは、諮問についてはどうか。その件は、その後で。
教育長	では、①0～18歳までの教育内容の充実に向けたオール日南の協働的教育環境（学校・家庭・地域連携）の在り方についてはどうか。
教育委員	義務教育を超え、18歳までの一貫したものを町として持つておくことは良いことと思っている。
教育長	まなびや縁側も5～6名の生徒が通っている。
事務局	まなびや縁側は日南町の子どもが中心。その他は日野高。米子方面に通う生徒が途中下車して通っている。生徒も満足しているという感想。大山青年の家での合宿も企画したが、まなびや縁側で実施した。社会人講師の方にも講義していただき、生徒には好評だった。9月から本格稼働する。
町長	男女別の割合はどうか。
事務局	女子が8割、男子2割。将来の希望に沿ったキャリア教育を行っている。今日は、一日、町内で農業研修を行っている。個別のふるさと教育ということだと考えている。
教育長	では②日南町の人づくりの基礎となる保育園・小学校・中学校一貫教育の深化に向けた仕組みづくり
教育委員	心の教育のあり方について心配している。心が育ちきれていないと感じる。
園長	保育園では、自然を使って体を動かす、地域を散歩することはやっている。コミュニケーションの力はなかなか見い出せてない。
教育長	昔は外に出て地域の方とかかわっていたと、保育士さんは言うておられた。今は、人と出会わない。言葉の育ちが乏しいと言うておられた。

町長	心の部分とはどういうことか。
教育委員	子どもたちが、ボランティアさんに注意されても聞かない。あいさつしてもあいさつが返ってこない。寂しい思いをされているボランティアさんも多い。この10年、なかなか改善されない。家庭の役割として育てていけないといけないのではないかと思う。人とのかかわりが少ないことが影響しているのか。カンガルークラブの意図があったのでは。子育ての悩みとか相談できる場であったのではないか。
教育委員	保小中だけでなく、やはり家庭も大きくかかわることだと思う。家庭も含めて話し合う方がよいのでは。
教育委員	10年間、この課題がずっとある。この課題にもっとウエイトを置いて話し合うべきだと思う。
町長	最近、若い保護者が敬語が使えない、言葉遣いのことが気になっている。敬語自体を知らないのかも。日本語を知らないのではと思ってしまう。むしろ、家庭教育がメインかもしれない。子どもは真っ白から成長していく。家庭も地域もどういう子どもに育てたいかを共有し、学校と共に育てていくことをやってほしい。こういったことも議題に加えてほしい。
教育長	町の課題として加えていきたい。家庭教育も柱の一つとなる。深化の部分でしっかり議論していきたい。 ③持続可能な「ふるさと」日南を創る0歳からのカリキュラムの在り方についてはどうか。
教育委員	具体的には何を求めているか。
教育長	ふるさと教育が大きなテーマとなる。小学校も、中学校は木育にも取り組んでいる。
町長	ねらいは、地方創生。Iターンがけっこう多い。Iターンの人は日南町を知らないが、地域に飛びこんでいる。Uターンの人は日南町を知っているが、魅力を感じていない。日南町を体験しているとアイディアも生まれる。これからは地方の時代。ふるさとに帰ってきてほしい。幼少期の過ごし方が大事となる。
教育委員	小さい時に体験しておくことは大事。1回、外に出たときに分かる。18歳を超えてからがふるさとのことを考えられる。
教育委員	小さい時に自然の中でたくさん体験することが大事。豊かな体験をしておくことが大切。地域を知ることが大事。大人向けのイベントは多いが、そこに子どもを巻き込んだイベントもあればよい。ふるさと教育について、地域の方は、案外知らない。学校がやっていることが知られていないことが残念。地域の方と交流し、学ぶことが大切。小さい時から地域の方と交流し、自分の職業まで決めている生徒もいる。

その他	町長	地域に子どもがいなくなって、思うように活動できていない現状。地域単位でもっと活動してもいい。昔は、地域で海水浴にも行っていた。
	教育委員	子どもがいなくても大人と交流すればよい。福栄小では、子どもがよその家庭に泊まる事業があった。多里の通学合宿のような形。
	教育長	よその家に行くと、行儀がよくなると言われていた。画期的だった。学校だけでなく地域も考えていくこと。では、この3つの柱でやっていくこととする。その他で何か。
	教育委員	1学期の学校訪問で感じたが、小学校で学級崩壊にもつながる状況があった。かつての中学校の荒れが小学校におりてきている。今、本当に教育をしておかなければならない。毅然とした指導が小学校にも必要だと思う。保護者にも理解してもらわないといけない。担任と家庭の関係をもっと作って本気に指導してほしい。家庭に出向く時間の確保はできているか。
	小学校長	担任が出向く時間はある。放課後、級外が子どもに向き合い、担任が電話をしたりしている。担任だけが保護者と話をするわけではない。担任と業務をなるべく分担している。
	教育委員	2学期以降、体制をつくって、担任と保護者がしっかり話をするのが大切。保護者全体も大事だが、何度も言うことが大事。情報を流していくことが大事。それと、町の買物券について、もう少し説明してほしい。家族はよくわかっていない。
	町長	買物券の2分の1は町が補助するというもの。100%補助より、町民も少しお手伝いしてくださいという意味。チャンネルにちなんでも情報を流している。情報発信は大事だと思う。
	教育長	学校と家庭がしっかり向き合うこと。向き合える時間の確保が大事になるということ。
	教育委員	小学校教職員の欠員に伴うことで、県教委の見解はいかがだったか。
	教育長	校内での対応でということだった。全県下の教職員の配置も整っていない。小学校は、教務主任が担任として入る。地教委も支援をしていく必要がある。
	教育委員	来年度の要求につなげてほしい。今から手を打っておくべき。
	町長	このグラフ（欠席者数）は、日南町のものか。3月になるにつれ欠席が多くなるのは何故か。
	事務局	累積なので、数はふえていく。
町長	日南町は多いほうか、少ないほうか。	
事務局	全県的に増えている。日南小中は多いということではないが、これから増えていくことも考えられる。	

教育長	総務課長、副町長からぜひ発言していただきたい。
総務課長	人材育成、定住政策を抱えているので、地域との思いを重ねて取り組むと成果が上がると思う。
副町長	3点申し上げたい。1つ目は、保護者、身近にいる大人が日南町を好きかが問題。保護者会の在り方について考えてほしい。2つ目は、社会体育施設など、練ってほしい。3つ目は、まなびや縁側を来年、再来年どういう風にしていくか。日南町にあってほしいと思っている。検討していただきたい。
教育長	たくさんのご意見をいただいた。今後在り方検討会で議論していきたい。本日はありがとうございました。 以上で令和2年度第1回総合教育会議を閉じます。

会議の経過を記載し、相違ないことを証するためにここに署名する。

日南町教育委員会教育委員